

## 当科でブレスト・インプラントならびに組織拡張器を挿入された患者様へ

すでに新聞等で報道されておりますが、テクスチャードタイプのインプラント挿入部に稀に発生するブレスト・インプラント関連未分化大細胞型リンパ腫（以下、BIA-ALCL）に関連し、2019年7月25日、アラガン社はBIOCELL®テクスチャードのブレスト・インプラントおよび組織拡張器（エキスパンダー）の世界規模での自主回収を行うことを公表しました。

今回の自主回収は、日本において同社の該当製品が今後新規で使用できないという内容で、米国、カナダやEUにおいても、無症状の方に対して予防的なブレスト・インプラントの摘出は推奨されてお  
りません。

BIA-ALCL 発生率が急に上昇したわけではなく、すでにブレスト・インプラントを挿入されている患者様に対して、直ちに摘出や入れ替え等の外科処置を要する内容ではございません。

引き続き少なくとも年1回の定期健診を受診していただくとともに、インプラント挿入部の痛み、腫れやしこり等を自覚された場合は、当院形成外科もしくは乳腺内分泌外科を受診していただきますようお願い致します。

BIA-ALCL の詳細につきましては、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会のホームページ（<http://jopbs.umin.jp/index.html>）→「一般の皆様へ」→「お知らせ」をご参照ください。

今後の当科の対応につきましては、関連学会の方針に従うとともに、当HP上で情報を随時更新致します。

何かご不明な点やご心配な点がございましたら、診察時にお問い合わせいただくか、形成外科医局の野村まで（078-382-6251）ご連絡くださいますと幸いです。

神戸大学医学部附属病院  
形成外科  
教授 寺師浩人  
診療科長補佐 野村正